

第2学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金) 2校時

対象 2組(男15名 女18名 計33名)

指導者 T1 黒瀬 恵子

T2 千葉 啓恵

1 主題名 うつくしいところ〔敬虔3-(3)〕

2 資料名 七つのほし (出典:学研「みんなのどうとく」2年)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

第1学年および第2学年の指導内容3-(3)は、「美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。」となっている。この内容は、美しいものや崇高なもののかかわりに関するものであり、それらに対して感動する心や尊敬する心をもった児童を育てようとするものである。

「すがすがしい心」とは美しいものに触れたとき、素直に「美しい」「きれい」「すてき」などの感情を抱くことである。また、自分の欲望をおさえて、相手の幸せを願って行動する心でもある。美しいものを美しいと感じることのできる心、美しいものに素直に感動する心を耕し、育てていくことが、豊かな心の育成には欠かせないと思う。

この期の児童は、空想的な現象の世界に心から入り込み、楽しむことができる純真さや豊かな感受性をもっている。しかし、多様化する生活環境や体験不足から、心洗われる事象や話に出会う機会が少なくなり、子どもたちの感動経験も不足している。

このような子どもたちに、人間が本来もつ純真さを引き出し、人間の行為の中には美しいもの、崇高なものがあることに気付かせ、素直に感動する心を育てていきたい。

(2) 児童について

学級の児童は、全体的に明るく、元気がよい。日常生活においては、活発に係活動や当番活動に取り組めるようになってきた。また、グループ学習では、友達同士で話し合いや活動ができるようになり、友達同士の関わりが以前より深まってきた。

子どもたちは、校庭から遠くに見える岩手山の美しさに感嘆の声をあげ、みんなのためにする仕事もほめられれば喜んでやる、という素直な気持ちをもっている。しかし、自然の美しさに関心を示さない子どもがいたり、我慢しなければならぬことは避けたがる子どもがいたり、と他への思いやりもその時の気分で行っていることが多い。また、物語の読み聞かせでは集中して話を聞き、主人公に共感して聞いている子どもも見られるが、物語に関心をもちない子どもがいるのも実態である。

「美しさ」という概念に対して様々な思いをもつ子どもたちがいる中で、自分の利害や欲望を乗り越え、相手を思う純粋な心の美しさ、その心情に裏付けられた行為の美しさに気付かせたいと考えている。

(3) 資料について

本資料は、日照りの続く夜に一人の女の子が病気の母親のために水を探しに行くという話である。木のひしゃくを持って家を出て、水を探し疲れた女の子は倒れて寝てしまう。目覚めるとひしゃくには水があふれている。女の子がその水を死にかかっている犬に分けてやるとひしゃくは銀に変わる。家へ戻った女の子は母親に水を差し出す。母親が女の子に水を飲ませようとするとひしゃくは金に変わる。そこへの道をからした旅人が来る。女の子は旅人に水を飲ませる。不思議なことにひしゃくからは水があふれ、ダイヤモンドが空に飛び出した。その星がひしゃく星(北斗七星)になったという話である。

女の子の純真な心、そして、相手を思いやった行動とその行動を支える優しい気持ちは人の心を打つ美しい心である。ひしゃくの色の变化やひしゃくから出て夜空に輝く星がそれを象徴している。子どもたちがそのひしゃくの色の变化や飛び出す星に感動し、美しい心に触れることのできる資料である。

(4) 指導にあたって

事前に、生活科の探検などで自然の美しさに触れる体験をしている。また、道徳の時間では前述の活動に関わって「自然愛・動植物愛護」の価値について学んできている。

今回の授業は、チームティーチングによる指導を行う。T1は、主に授業を進め、T2は気づく段階で資料提示の援助を行う。また、見つめる段階では、役割演技を行う。さらに、まとめる段階では、T1、T2とで教師説話を行う。

気づく段階では、星空のDVDを提示することにより、星座や星雲のもつ神秘、美しさに触れさせ、資料への導入を図る。

見つめる段階では、女の子の行動やひしゃくの色の变化などに着目させながら、女の子のもつ優しさや心の美しさに共感させ、物語のもつ美しさにも触れさせていきたい。

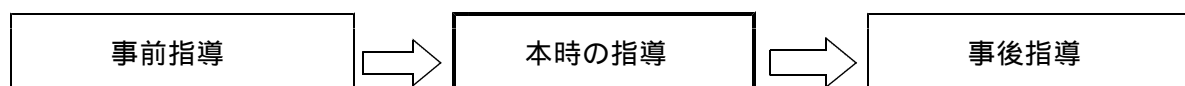
つかむ段階では、ひしゃくの色の变化や、ひしゃくからダイヤモンドが飛び出し、空に輝く現象の意味を深く考えさせることによって本時の価値把握につなげたい。

広げる段階では、自分たちの生活を振り返り、美しい心の現れた行動について思い起こさせ、一般化を図る。

まとめる段階では、今後「美しさ」というものを児童が感じるときに、その幅が広がるように教師説話を行う。

この学習を通し、人が「美しい」と感じるものには目には見えなくとも、その感情を抱くものがある、ということに気付かせ、美しさに素直に感動する心を育てたい。

4 本時指導の位置付け



『生活科』
単元名
「探検に行こう」
探検をする中で自然の美しさに触れる。

『道徳』
主題名
わたしのだいじなあげは
価値 自然愛、
動植物愛護3 - (1)
資料名
「元気でね、あげはくん」
ねらい
身近な自然に親しみ、動植物との触れ合いを通して、それらに対する優しい心を養う。

主題名
うつくしいところ
価値
敬 虔
資料名
「七つのほし」
ねらい
人の心の美しさを通し、美しいもの、清らかなものに感動する気持ちを育てる。

朝の会
「おはなしタイム」では自分たちが見つけた自然の美しさなども発表できるように支援していく。

帰りの会
「キラキラタイム」では友達によさだけにとどまらず、自分が感動したことなどについても発表できるようにしていく。

『道徳』
主題名
生きる喜び
価値 生命尊重3 - (2)
資料名
「ぼく」
ねらい
生きることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。

5 本時の指導

(1) ねらい

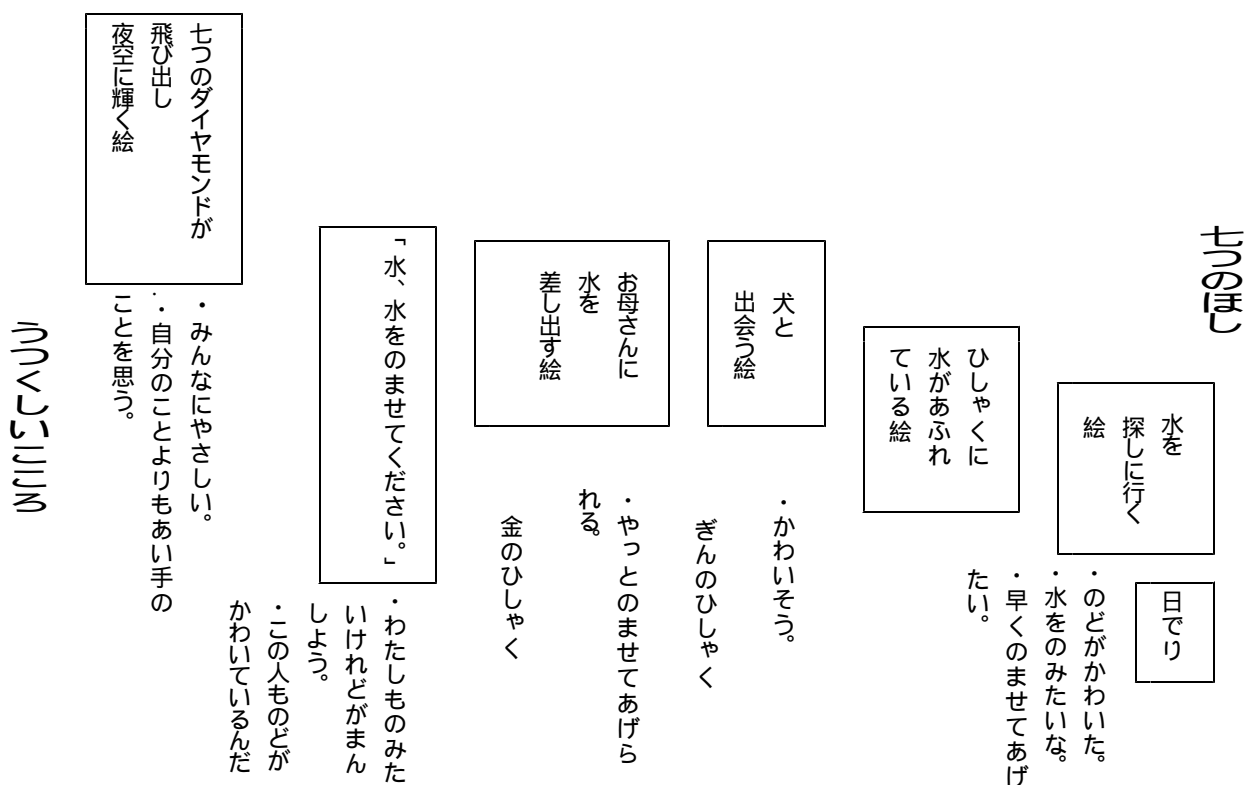
人の心の美しさを通し、美しいもの、清らかなものに感動する気持ちを育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される 発言や心の動き	指導・援助の 留意点
気づく 10分	<p>1 夜空の星のDVDを見て、話し合う。 星空を見て、どんなことを思いましたか。</p> <p>2 資料を読んで感想を出し合い、学習のねらいをもつ。 どんなところが心に残りましたか。</p> <div data-bbox="274 1055 962 1173" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どうしてひしゃくの色が変わったり、飛び出したダイヤモンドが星になって輝いたりしたのでしょうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・形がきれい。 ・いろいろな色がある。 ・本物も見たことがあって、きれいだった。 ・女の子が犬やお母さんに水をあげたところ。 ・ひしゃくの色がかわったところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・星空のDVDを提示し資料への関心を深める <div data-bbox="1102 779 1410 943" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>T 1が資料を読み聞かせ、T 2が場面絵を貼っていく。</p> </div>
見つめる つかむ 25分	<p>3 女の子の気持ちを中心に話し合う。 女の子はどんなことを思って水を探しに行ったのでしょうか。</p> <p>女の子はどんなことを思いながら犬やお母さんに水を差し出したのでしょうか。</p> <p>女の子はどんなことを思いながら旅人に水を差し出したのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のどがかわいた。 ・水を飲みたいな。 ・早くお母さんに水を飲ませてあげたい。 ・犬がかわいそう。 ・やっとお母さんに水を飲ませてあげられる。 ・私も水が飲みたいけれど我慢しよう ・この人ものどが渴いているんだ。水をあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日照りが続いていることや女の子もひどくのどが渴いていることをおさえる。 ・相手のことを考えて水を差し出す主人公の優しい気持ちに共感させる。 <div data-bbox="1102 1675 1410 2040" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>役割演技をすることにより、見知らぬ旅人にも水を差し出す主人公の、相手を思いやる心の美しさを感じ取らせる。その際、T 1は子どもが感じ取った主人公の心情を引き出し、T 2は旅人役を演じる。</p> </div>

	<p>どうしてひしゃくの色が変わったり、飛び出したダイヤモンドが星になって輝いたりしたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女の子がみんなに優しくしたから。 ・女の子やお母さんが自分のことよりも相手のことを思っていたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひしゃくを軸にその変化のわけを考えさせることにより、本時の価値をつかませる。
<p>広げる 5分</p>	<p>4 資料で学んだことを生かし、美しいものについて話し合う。 自分の心をおさえて、誰かのためにしてあげたことには、どんなことができましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつを食べようとしていたら、弟が「ちょうだい。」と言ったので、自分の分を半分あげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活の中でも美しい心が現れた行動について思い起こさせ、そのよさを確認し合う。 ・子どもたちが話す内容を共感的に受け止め、子どもの思いを大事に扱う。
<p>まとめる 5分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>		<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">T 1、T 2 が提示する美しさに触れさせ、価値の深化を図る。</p>

6 板書計画



7 資料分析

資料名 七つのほし

出典：学研「みんなのどうとく」2年

ねらい

人の心の美しさを通し、美しいもの、清らかなものに感動する気持ちを育てる。

場面	<p>水を探しに行き、 疲れて寝てしまう 場面</p>	<p>倒れている犬に 水をあげ、母親に も水をあげる場面</p>	<p>旅人にひしゃく を差し出す場面</p>	<p>七つのダイヤモンドが 空にのぼっていく 場面</p>
外的状況と主人公の心の動き	<p>日照りが続いて いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のどがかわいた。 ・水を飲みたいな。 ・早くお母さんに 水を飲ませてあ げたい。 <p>不安 優しさ</p> <p>我慢</p>	<p>木のひしゃくが 銀や金にかわっ た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬がかわいそう ・やっとお母さん に水を飲ませて あげられる。 <p>我慢 不思議</p> <p>希望</p> <p>優しさ</p>	<p>ひしゃくから大 きなダイヤモンド が七つ飛び出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も水が飲みた いけれど我慢し よう。 ・この人ものどが 渴いているんだ。 水をあげよう。 <p>我慢 不思議</p> <p>優しさ</p>	<p>輝くひしゃく星 になった。</p> <p style="text-align: center;">敬 虔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女の子がみんな に優しくしたか ら。 ・女の子やお母さん が自分のこと よりも相手のこ とを思っていた から。 <p>感動 安心</p> <p>優しさ</p>
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・水がなくてかわ いそうだな。 ・お母さんに水を 飲ませてあげた いなんて優しい 子だな。 ・探し疲れてしま ったんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬に水を飲ませ てあげて優しい な。 ・お母さんに水を 渡せてよかった ・ひしゃくの色が 変わって不思議 だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅人に水を差し 出すなんてえら いな。 ・女の子も水が飲 みたいだろうな。 ・ダイヤモンドや 水が出たのはふ しぎだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤモンドが 星になったんだ な。きれいदार うな。 ・ひしゃく星は女 の子の優しい心 が光ってできた んだな。
発問	<p>女の子はどんな ことを思って水 を探しに行った のでしょうか。</p>	<p>女の子はどんな ことを思いなが ら犬やお母さん に水を差し出し たのでしょうか。</p>	<p>女の子はどんな ことを思いなが ら旅人に水を差 し出したのでし ょう。</p>	<p>どうしてひしゃ くの色が変わっ たり、飛び出し たダイヤモンド が星になって輝 いたりしたので しょう。</p>

